

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

園芸

業務紹介

◆ 概要

野菜、花き、果樹等の生産技術等の普及指導、
品種開発等の試験研究等

◆ 勤務先

本庁各課

地方機関 (地方振興事務所、農業改良普及センター、農業・園芸総合研究所など)

自己紹介

- ◆ 出身 : 秋田県
- ◆ 入庁までの経歴 : H30.3 県外大学卒業
H30.4 地方自治体入庁(前職)
R 2.4 宮城県庁入庁

入庁後の異動歴 (現在入庁5年目)

R2.4～ **北部地方振興事務所 農業振興部 先進技術班
(大崎農業改良普及センター)**

野菜の生産技術改善の普及指導に関することなど

R4.4～ **農政部 園芸推進課 園芸振興班**

(R4.4～R6.3)

花きの生産振興、花き品評会、小学生向け園芸体験など

(R6.4～)

いちごの生産振興、いちごのPRに関すること、いちごの栽培研修会の開催など

志望動機

◆ なぜ公務員？

実家が農家で農業の苦勞を知っていたため、農家を支える仕事に携わりたかったため。

◆ なぜ宮城県庁？

震災後、沿岸部を中心に大規模施設が増加しており、先進的な園芸に携われると思いました。また、東北の中心地でもあり、農産物の販売や流通など可能性にあふれている宮城県で働きたいと考えました。

国ではなく県を選んだ理由は、より地域の農業現場に近いところで仕事をしたかったからです。

これまでに担当した業務の紹介

◆ 北部地方振興事務所 農業振興部 先進技術班



J A 等と連携して
栽培講習会を実施し、
講師をしました。



地域の農業者を
巡回して野菜の
栽培指導を実施

これまでに担当した業務の紹介

みやぎの未来を、クリエイト。

◆ 農政部 園芸推進課 園芸振興班



市場や農協など
花き関係団体との
会議を開催



宮城県産花きの
ブーケをスポーツ
大会で贈呈



花き品評会を
開催して生産者の
生産意欲を喚起



小学生向け
園芸体験を開催

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

デスクワークや事務作業が多そう

◆ 入庁してみたら・・・

意外と現場に出ることが多い

県民からの相談や関係団体との打合せなど、
思っていたよりも色々な人と関わる機会が多い

仕事をする上で心がけていること

◆ しっかりと話を聞いて、丁寧に應對すること。

相手が何を伝えたいのか、まずはしっかりと話を聞き、分からないことがあればしっかりと調べて対応するなど丁寧に應對を心がけています。

◆ 仕事での悩みや疑問を抱え込まず、先輩や上司に相談したり、情報共有をこまめに行うこと。

自分だけで悩んで抱え込む方が大変なので、分からないことがあればすぐに聞くようにしています。

印象に残っている業務

- 地方機関で野菜の栽培指導を担当していたとき、採用直後は分からないことが多くて、現地で質問されても「調べてから回答します」とばかり答えていましたが、丁寧に回答を続けていたところ、生産者から「いつもありがとう」と言っていただけのことです。
- 県庁では、色々な関係団体が所属する協議会の事務局を担当していましたが、初めはそれぞれの立場や意見があり、まとめるのに苦労しましたが、しっかりと話を聞いて対応していたところ、今では相手から協力してくれるようになりました。

仕事のやりがい

- 県民から相談を受けた問題を解決できて、感謝されたとき。また、再び頼ってもらえたとき。
- イベントを企画して、関係機関とともに準備を進めてきた行事が成功し、参加者に楽しんでもらえたとき。

職場の雰囲気

- 初任地の地方機関では、当時の上司や先輩職員から「1年目は仕事を覚えることが仕事だから」と丁寧に仕事を教えてもらいました。
- また、こまめに話しかけていただき、気軽に話せる雰囲気をつくっていただけたので、悩むことなく仕事をすることができました。

宮城県職員の魅力

- 園芸職種では、園芸振興の施策を担う『行政』や、現場で生産者に栽培指導を行う『普及』、栽培技術の研究や新品種育成などを担う『試験研究』など、幅広い業務を経験することができます。
- また、私のように県外出身者で入庁するまで宮城県に住んだことがなかった職員や、民間企業で働いた後に県庁に入庁した職員など、様々な職員がいます。
- 多様な人材がお互い協力しながら仕事に取り組む体制が整っています。

私の公務員試験対策

○教養試験

→大学の公務員講座を受講していました。

○専門試験

→市販の参考書を購入して勉強しました。

○人物試験

→大学の公務員講座で対策したほか、研究室でも就活対策として担当教諭に想定問答などを見てもらっていました。

また、HPに公開されている過去問などを調べて勉強しました。

先輩職員からのメッセージ

- 多様な業務内容で初めて知ることや経験することも多く、日々勉強しながら業務にあたっています。
- 県民の役に立てるように、行政や普及、試験研究が一体となって園芸振興に取り組んでいます。とてもやりがいのある仕事なので、ぜひ一緒に宮城県の園芸を盛り上げていきましょう。